

エイトチェック-3WP-N の使い方

1. 用法・用量(操作方法)

- (1) 冷暗所より取り出して室温(15-30℃)に戻してください。(約15分間)
- (2) バイアルを両手に挟み、両手で転がすようにかくはんしてください。(約15秒間)



- (3) バイアルの両端を親指と残りの指で挟み、完全に天地が逆さになるように手首を返しながらかくはんした後、測定します。特に、長時間静置してあるバイアルについては、底に固まりがなく十分にかくはんされている事を確認の上、測定してください。



- (4) 同じバイアルを連続して測定する場合は、さらに5回かくはんした後、測定します。
- (5) 測定終了後は冷蔵庫(2-8℃)に入れてください。
- (6) 冷蔵庫から取り出して測定する場合は、上記(1)～(5)の手順で使用してください。
- (7) 精度管理は測定に使用する機器の取扱説明書に従って行ってください。

2. 保存方法

エイトチェック-3WP-Nは2-8℃の暗所に保存してください(一度凍結させたものは使用できません)。

3. ご注意

- (1) 使用時の室温放置時間はできるだけ短くしてください。長時間室温に放置すると、製品の劣化をまねくことがあります。
- (2) 使用後はキャップとバイアルの口に付着した血液を速やかにガーゼなどで拭き取り、密栓して冷蔵庫(2-8℃)に入れてください。水分の蒸発により、濃度が上がることがあります。
- (3) エイトチェック-3WP-N の原料となる血液は、HBs抗原、HCV抗体、HIV-1抗体、HIV-2抗体の検査を行い、陰性の結果を得ていますが、感染の可能性を完全に否定できる検査法がありません。また、それ以外のウイルスに関する検査はしていません。感染の危険性があるものとして、検体と同様に十分に注意をして取り扱いください。
- (4) エイトチェック-3WP-N は人体外用の検査試薬ですので、人体には使用しないでください。
- (5) エイトチェック-3WP-N は精度管理用のコントロール血液ですので装置のキャリブレーションには使わないでください。
- (6) 開封後の有効期限は7日です。以後の使用にあたっては、水分の蒸発、雑菌の繁殖などにより計数値が異常になることがありますのでご注意ください。



体外診断用の専用製品



添付の文書参照



使用期限



ロット番号



保存温度



生物学的リスク

シスメックス株式会社

神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号